



秋もクマに注意

秋はクマが冬眠に向けて餌を求めて活発に動き回ります。このため、行楽やキノコ採りなどで人とクマが出合う機会が多くなり、思わぬ事故に遭う可能性もあります。県内では人身被害の多くが9月～11月に発生し、特にキノコ採りに行った際の事故が多くなっています。被害に遭わないために、次のことに注意してください。

①クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。クマに自分の存在を知らせましょう。また、複数で行動するようにしましょう。

山林や山林近くの田畑に行くときは複数で行動し、ラジオやクマ鈴、笛など音の出る物で、人の存在をクマに知らせましょう。

②子連れのクマに注意してください。

子グマを見たら、近くに母グマがいて、警戒していると思ってください。危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

③万一、クマに出会ったら、背を向けずに、クマを見ながらゆっくり後退してください。

クマ撃退スプレースの使用も有効です。

④餌となる家の周囲の生ゴミや取り残しの果実などを放置しないでください。

人にとってはゴミや不要な物でも、クマにとっては食べ物です。

⑤市街地周辺のやぶなどは刈り払いましょう。

クマは河川敷などの緑地に隠れて移動します。刈り払いでクマの出没を防ぎましょう。

備えは万全に



ラジオ



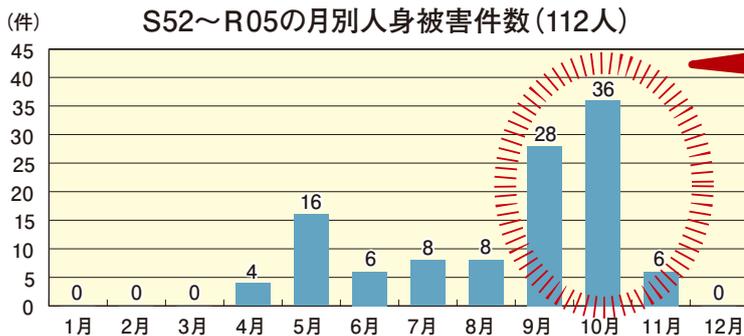
笛



クマ撃退スプレー



クマ鈴



クマによる人身被害の6割(70人)が9～11月に発生しています!

被害に遭った主な状況

- キノコ採り 30人
- 農作業中 6人
- 木の実採り 5人
- 自宅 5人



【クマに関する情報】

山形クマ

検索

山形県環境エネルギー部みどり自然課

☎023-630-3042

